

福岡県鞍手・宮田工業用水道事業の紹介

○事業の主旨

鞍手・宮田工業用水道事業は、産炭地域振興計画の一環として、通商産業省（現経済産業省）資源エネルギー庁の産炭地域小水系用水開発補助事業を活用し、地域振興整備公団（現独立行政法人中小企業基盤整備機構）が、造成した工業団地及びその周辺企業に必要な工業用水を給水することを目的に実施された。

なお、鞍手・宮田工業用水道事業は、鞍手地区、有木地区、宮田地区の3給水系統により構成されている。

○事業の経緯

・鞍手地区

鞍手地区については、中間市、鞍手町及び遠賀町に位置する企業への工業用水供給を目的に昭和41年4月に建設に着手し、昭和43年6月に給水を開始した。

・有木地区

有木地区については、宮田町に位置する宮田工業団地（有木地区）への工業用供給を目的に昭和61年4月に建設に着手し、平成4年4月に給水を開始した。

・宮田地区

宮田地区については、宮若市に位置する企業への工業用供給を目的に昭和47年4月に建設に着手し、平成12年4月に一部給水を開始、平成13年5月に全部給水を開始した。

・事業の承継

国の産炭地域振興対策の終了及び地域振興整備公団法の改正により、地域振興整備公団による工業用水道事業の継続が困難となったため、県及び関係市町村の共同事業として位置づけ、県企業局において平成15年3月31日に承継し、平成15年度より鞍手・宮田工業用水道事業として経営することとなった。

○ユーザーの概要

(平成20年3月末現在)

業種	給水件数	契約水量 (m ³ /日)
金属	2	900
コンクリート	2	200
製紙	2	970
機械	1	2,000
自動車	1	6,000
医薬品	1	400
食品	1	300
プラスチック	1	200
その他	5	1,210
合計	16	12,180

○施設の概要

・鞍手地区、有木地区

鞍手町に所在する木月池及び浮州池から取水し、約2,200m離れた鞍手浄水場へ導水している。

鞍手地域へは、延長6,670mの配水管、宮田地域へは延長2,340mの配水管をそれぞれの配水池より設置している。

・宮田地区

一級河川遠賀川水系犬鳴川（犬鳴ダム）の表流水を芳賀堰で取水し、約9,200m離れた宮田浄水場へ導水している。

延長約12,000mの配水管を配水池より設置している。

○事業の特徴

福岡県では「北部九州自動車150万台生産拠点推進構想」を掲げており、今後、自動車産業と結びつけて新しい製品開発能力、システム設計能力を作り出すことを目指している。

その中心となる地域で自動車関連産業の集積が進んでいる。

福岡県鞍手・宮田工業用水道事業

(平成20年3月末日現在)

